

令和 3 年 9 月 24 日

2～6 年保護者 様

寝屋川市立三井小学校

校 長 澤井 啓士

寝屋川市学習到達度調査、全国学力・学習状況調査、すくすくウォッチの結果について

清涼の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご清祥のことと存じます。平素より、本校の教育活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、5月に実施しました学習到達度調査と全国学力・学習状況調査、すくすくウォッチの各学年の結果についてお知らせします。個人票（2～5年は7月配付済み）についても今後の家庭学習の参考資料としてご活用ください。尚、本日5・6年生にすくすくウォッチの結果を返します。お家でご確認ください。

＜令和 3 年度の正答率について＞

各学年の全国平均との差は国語と算数で、2年生が+7.5、3年生が+7.7、4年生が+9.4、5年生が+14.8、6年生が+1.6ポイントと、どの学年も2教科とも上回っており、すくすくウォッチに関しましては、5・6年生では総合して、府の平均を上回っておりました。3種類の調査を通して、全体的な学力については概ね良い傾向であると考えられます。

＜令和 4 年度に向けた課題について＞

全国学力・学習状況調査につきまして、国語科において「資料を用いた目的を理解する」および「目的や意図に応じ、資料を使って話す」についての設問には課題がみられました。算数科では「データの活用」の領域が全国平均をやや下回っていました。今後「データを分類し、状況に応じて整理の仕方を工夫する」などの学習に取り組んでいきます。児童質問紙では「いじめはどんなことがあってもいけないこと」（95.1%）と人権意識の高さを感じられました。ただ、「自分には、よいところがあると思いますか」についての回答率が、ややそう思うも含めて（68.1%）で、自己肯定感が低いことが伺えます。今後、子ども自身が主体的な学習を通して学ぶことにより、自尊感情が醸成されるように取り組んでまいります。寝屋川市学習到達度調査におきましても、国語科においては「読むこと」、算数科においては「測定」「図形」に課題が見られました。

全体的に観点別正答率において「主体的に学習に取り組む態度」が高く、子ども達が主体性を持って課題に取りくめていることが分かります。今後も、子どもたちが意欲的に、主体的に課題に向き合い、粘り強く課題の解決に向けて取り組んでいけるよう、努めてまいります。